



先輩の体験談を読み、進路実現のために何をすべきか考えよう!!

先輩に学べ！ 合格体験記 その③

2月2日(木)に進路体験講話を行い、1・2年生は、3年生の進路決定者と懇談することで、進路希望を達成するための勉強方法や意識の持ち方など参考になった部分が多いと思います。

様々な学校に挑戦して、見事合格を勝ち取った先輩がいます。今回は4年制大学の合格者です。1・2年生にとっては自身の進路実現に向け大きなヒントになるとと思います。

質問事項

- ① 1日の学習時間 ② 授業・定期考査の取り組み ③ 作文・小論文対策 ④ 面接対策 ⑤ 履歴書・志望理由書をつくる上でのポイント ⑥ その他進路達成に向け、心掛けたこと・工夫したこと・アドバイス ⑦ 受験のために我慢したこと。 ⑧ 1・2年生のうちにやっておけばよかったこと。 ⑨ 1・2年生のうちにやっておいて良かったこと。
- ⑩ 進路先を決めた時期 ⑪ 入試・受験で大変だったこと。 ⑫ 後輩へのメッセージ・アドバイス

〈 四年制大学 〉

○ 会津大学 コンピュータ理工学部コンピュータ理工学科 学校推薦型選抜 公募制 合格

- ① 平日 3.5時間 休日 5.5時間
- ② 苦手な教科や復習に時間がかかる教科は、1週間ほど前から計画を立てて進める。夜遅くまで勉強せずに睡眠をしっかりとる。
- ③ 志望校の過去問を3回分行った。書き始める前に自分の考えを簡単にまとめて、メモを残すようにした。自分の意見と理由をしっかりと主張するようにする。
- ④ なし
- ⑤ 訂正される前提で自分の興味のあることや学びたいと思っている学問について、自分の考えをとにかく書いた。添削を受けた後は、担当の先生と相談しながら、志望理由書をまとめていった。
- ⑥ 特にありません。
- ⑦ 普段からユーチューブを使用する時間が長かったので、スマートフォンの使用時間を短くするのが大変だった。
- ⑧ 英語は、文理に関係なく必ず必要になってくる教科なので、英語の勉強は大事です。英単語は、覚えても忘れてしまうので、何度も反復する必要があります。進路について、よく考えること。私は、専門学校から大学進学に進路変更をしたため、選択科目については、後悔が残りました。
- ⑨ 数学の青チャートの問題集を周回したこと。2年の冬休みから基礎問題に取り組んだ。元々数学が一番苦手な教科だったが、青チャートを繰り返したおかげで、問題が解けるようになり、一番得意な教科になった。
- ⑩ 3年の9月頃
- ⑪ 英語の勉強が大変だった。文法も大変だが、英単語は、時間がかかる上に地道に辛い。すき間時間で反復し、合計の勉強時間を延ばしていくのが良いと考える。
- ⑫ 過去問が解けても、失敗しないように、最後まで気を抜かずにしっかりと勉強すること。英語ができるかどうかで合否が決まる可能性が高いと思います。コンピュータ理工学は、社会の中で重要な役割があるので、魅力ある学問だと思います。どの様な仕事に活用されているか調べることで、自分の進路に影響すると思うので、とにかく幅広く調べることをおすすめします。

○ 福島大学 理工学群共生システム理工学類 学校推薦型選抜 公募制 合格

- ① 平日 4 時間 休日 10 時間
- ② 授業中は先生の板書をそのままうつすのではなく、自分が大事だと思った先生の発言を付け加えることをした方が良い。自分の見やすいノートをつくるのが大切。定期考査は、全教科80点以上と平均90点以上を目標に取り組んだ。2週間前ぐらいからワークを解き始めて、最低2周はするようにした。
- ③ 小論文の具体的対策は、2か月前ぐらいから始めた。先生に添削してもらい毎日取り組んだ。根拠の薄い自分の勝手な考えを文章に入れてしまうことが多かったため、それをしないように心がけた。過去問と先生が用意した題材の2つに取り組んだ。
- ④ 先生方と2週間前から始めた。志願理由書について、詳しく質問されるようなところをしっかりと答えられるように取り組んだ。高校生活についての質問に対する答えも具体的な内容を踏まえて答えられるように練習した。
- ⑤ まずは自分が将来何をやりたいのか何をしたいのかを書くことが大切。そこに自分が興味を持ったきっかけや大学でできること、やりたいことなどを付け加えて書くようにする。書き出しは、簡潔に書く。
- ⑥ 自分のやりたい事を明確にして、それについて詳しく調べたほうが良い。
- ⑦ スマートフォンは調べ物をするときだけ使用し、ゲームをしないようにした。テレビは、ニュースだけを見るようにした。
- ⑧ 家庭学習をする習慣がついていなかったなので、1・2年生のうちから授業の予習や復習をしっかりとっておけばよかった。自分のやりたい事を早目に見つけるべきだった。本をたくさん読んでおけば良かった。
- ⑨ 通知票の評定平均を5.0にしておいたこと。部活動に熱心に取り組んだこと。
- ⑩ 3年の4月頃
- ⑪ 小論文。筆者に対する自分の考えを上手く書くことができなかったので、毎日取り組み、添削指導を受けた。
- ⑫ 小論文は、早いうちから取り組んでおいた方がいいので、進路希望を早目に決めて、その学校の小論文の対策をすることが大切。面接は、相手の質問に対して、しっかりと答えられるかが大切。口頭試問がある場合は、担当の教科の先生と取り組んだ方が良い。

○ 新潟大学 経済科学部 学校推薦型選抜 公募制 合格

- ① 平日 2 時間 休日 5 時間
- ② 授業では板書をそのままうつすのではなく、先生の話で大事だと思ったことをノートの隅に書くようにしていた。暗記事項が多い科目、特に日本史は、教科書の黒太字の語句を声に出して覚えるようにした。
- ③ まず、問題文全てに目を通し、設問の前後で自分が大事だと思うところに線を引いてから書き始めるようにした。慌ててしまうと、誤字・脱字が出てしまうので、落ち着いて取り組むように心がけた。
- ④ なし
- ⑤ 大学で何を学びたいか、学んだことを将来にどの様につなげたいかを具体的に述べ、積極性をアピールすることが大事。大学のパンフレットやホームページに載っていることは、すでに大学側が知っていることなので、そのまま書かない。
- ⑥ 時々新聞を読んで、経済系の知識を養った。志望大学の赤本の過去問を2周した。
- ⑦ スマートフォン、ゲーム
- ⑧ 模試の数学で苦戦したため、1・2年生の時から予習・復習を徹底し、苦手分野を克服しておけば良かった。新聞やニュースを毎日見ておけば良かった。
- ⑨ 英検・漢検の準2級を取得しておいたこと。南会津町の青少年の主張大会に出場しておいたこと。
- ⑩ 3年の4月頃
- ⑪ 新潟大学の総合問題は、小論文形式の問題だけでなく計算問題もあったので、時間配分が大変だった。小論文形式の問題は、全て10分程度で終わらせないと問題を解き切ることは難しいと感じた。
- ⑫ 私は3年生の6月ころから焦って勉強し始めたので、正直合格できるかどうか不安でした。合格するためには、早目の対策がとても重要です。